

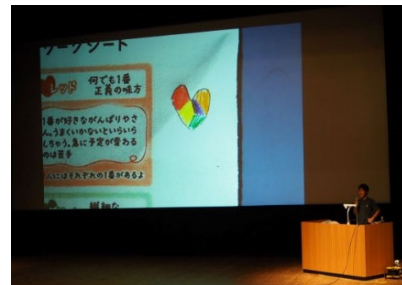
にのみや学園小学校交流会

9月5日（木）にラディアンのホールで行われた「にのみや学園小学校交流会」。町内3校の6年生が、明星大学教育学部教授の星山麻木先生によるワークショップ「自己理解・他者理解」に参加しました。この交流会は、昨年度開校した施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」のプロジェクトの一環で行われたものです。

最初に、星山先生から、7色の子どもたちそれぞれのタイプ（「なんでも1番 正義のみかた…レッドくん」、「すばやく動く 人情家…イエローちゃん」など）について、説明を受けました。その後、子どもたちは、「この色はぴったり自分に当てはまる。」「この色は少し自分に当てはまるところがあるかな。」「この色は自分に当てはまらないな。」などと考えながら、ハート形の枠の中を「自分にあてはまる」と感じた色でぬっていきしました。どの子も自分のことをじっくり見つめ、自分に当てはまるタイプについて真剣に考えていました。

最後は、3校の6年生が一緒になったグループで、ぬった色について交流しました。7色すべてをぬった子もいれば、2色だけをぬった子もいるなど、それぞれでした。

この交流会によって、自分のことを理解すること、友達のことを理解すること、そして自分と友達との違いについて理解することにより、自分らしい生き方、仲間との人間関係の築き方について考えるきっかけになりました。



にのみや学園小中学生交流会

9月25日（水）に「にのみや学園小中学生交流会」が行われ、町内3校の6年生が、進学予定のそれぞれの中学校を訪問しました。この交流会も、「にのみや学園」のプロジェクトの一環で、年3回（9月、10月、2月）予定されています。ねらいは、「高学年の児童が進学予定先の中学校に行き、授業参観や部活動体験（見学）を行うことで、中学校への滑らかな進学を図ること」です。

本通信では、二宮中学校を訪問した二宮小学校の6年生の様子をお伝えします。

当日は、まず始めに、教科の授業の様子や汐鳴祭「文化の部」に向けて学級ごとにスタンドグラスを制作している様子を参観しました。実際に教室の中に入って参観をすることができたので、中学生の授業に取り組む様子や文化祭に向けて学級が一つになっている様子を間近で感じる事ができたようです。

次に行われた学校案内では、生徒会本部役員から、校舎内の様子や中学校生活についての説明がありました。6年生からは、時間内で終わらないほどの質問が相次ぎ、中学校への関心の高さがうかがえました。

最後に行われた部活動の見学では、笑顔を見せながらも真剣に練習に取り組む姿、作品制作に黙々と取り組む姿、部員が一つになって楽器を奏でる姿を、あこがれのまなざしで見つめていました。

交流会を終えた6年生からは、「全学年、楽しそうに授業に参加していたから緊張しないで来年入学できそう」、「授業が難しそうで小学校とは違う緊張感みたいなものがあった」、「部活動は、厳しそうなイメージがあったけれど、みんな楽しそうにやっていて大丈夫そうだったから安心した」などの感想が聞かれました。

入学まで半年のこの時期に、中学校の生活に少しでもふれられたことは、半年後の自分の姿を思い描き、どのような中学生になりたいかをじっくり考えることにつながると思います。



感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

